



## 防災対策、子育て支援、福祉の充実で

# 区民が安心して暮らせる文京に



川口町で救援活動する小竹さん

小石川後楽園庭園にて…右より、関川けさ子、島元雅夫、高畑ひさ子、小林進区議、小竹ひろ子前都議、佐藤のりかず区議、いたくら美千代前区議、こつた久美子区議



### 直下型地震対策を

新潟中越地方を襲った震度7の地震は、甚大な被害をもたらしました。日本共産党は、現地に救援センターを設置、文京からも小竹前都議をはじめ9次にわたりボランティア隊を派遣し、支援活動に取り組んでいます。

住宅本体の再建に公的支援ができるよう「支援法」の改正を政府に要求するとともに、区政の場での直下型地震対策など、防災対策の検証を迫りました。

その中で、区施設の耐震工事を前倒しで早めること、木造住宅密集地域での個人家屋の耐震化工事に助成を検討すると区長が約束しました。そのほか水の確保等ライフライン対

策、災害用トイレの確保と避難所トイレの下水道耐震化、風呂確保の観点からも寿会館の存続、高齢者・障害者対策、崖など危険区域の再点検、消防団員の確保と活動拠点となる分団本部施設の整備などを要求しています。

### 建築紛争予防の条例を改正

中高層建築物をめぐる建築紛争予防条例が全会派一致で改正されました。3ヵ月前、日本共産党等が提案した際、一度は否決されましたが、今回内容を一部手直しして全議員が共同で提案、可決されたものです。その背景には、ひん発する建築紛争を予防したいという住民の強い願いがあります。

### 超高層ビル計画は見直しを!

「茗荷谷駅前地区再開発」には千通にも及ぶ反対意見が寄せられましたが、高さを99.8mから96mに変更して進めようとしています。後楽2丁目の西、北西、南、北地区と、春日町3丁目地区(小石川1)の再開発計画もあり、地元からも、超高層ビルで住民追い出しは困る、多額の税金を投入する「再開発事業」は見直すべきだとの声があがっています。

## 区民参画、住民投票制度などを条例化 ~実効あるものに~

今回提案された「自治基本条例」は、政策立案・実施・評価の各段階への区民参画、区への提案制度、区民の意見表明、情報公開と情報の共有、住民投票制度等が条例に書き込まれたことは評価できます。

本条例をテコに民間委託など新「行革」を推進することは許されません。実施にあたっては、  
・区民の主権、福祉を享受する権利、住民福祉の増進を総合的に実施する区の役割を明確にすること。

- ・行政が「自己決定、自己責任」を区民に求めるべきでない。
- ・政策立案・実施・評価への営利企業の参加は、区民と明確に区別すべきです。
- ・子どもの声を区政に生かす特別な仕組みをつくること。
- ・住民投票条例の制定を急ぐこと。以上の意見を付して共産党は、条例に賛成しました。



小竹ひろ子  
(前都議会議員)

大塚女子アパート(都営住宅)跡地を取得する方向になった事を喜んでいました。私はこの間歴史的価値のあるこの住宅再建等も含め区移管払下げを要望してきました。住宅を含め区民施設を建設させ、区の費用負担を少なくさせるよう働きかけていきます。

## 大塚女子アパート跡地—文京区が取得へ

区は、大塚3丁目の大塚女子アパート跡地を取得し、



文京区長にも申し入れる

男女平等センターや図書館を含む「茗荷谷複合施設」の用地にする計画です。

この間、小竹ひろ子前都議と党区議団は、社会・文化史的にも貴重な跡地の有効活用の仕方は、住宅建設を含め文京区と区民に委ね、土地の無償譲渡をと、都に迫ってきました。

第四回定例会  
代表質問しました

代表質問する佐藤憲和議員

- ・中越地震に関連し防災対策
- ・来年度予算について
- ・高齢者、障害者住宅の建設、商店街活性の支援策など
- ・小学生までの医療費無料化を
- ・介護保険の問題について
- ・雇用と中小企業対策について
- ・少人数学級の実施について

(全文は区議団ホームページに)

### 駒本小に新育成室

「学童保育の待機児童は出さない」が文京区の方針。しかし16年度は4育成室で40人定員を50名まで増員しても追いつかず、10名の『鍵っ子』を出してしまった。新年度からは駒本小学校内に新たに育成室が誕生する。父母たちの運動が実った。

昨年夏の中学校視察の際、各校とも吹奏楽器が痛み修理さえ困難で、大変苦慮していると訴えがあった。楽器の買い替えのために特別の予算化をと要望してきたが、楽器を含め備品購入費等の新年度予算の増額が検討されることになった。

### 楽器更新の予算増額

し  
実  
ま  
現  
し  
た

### 総合体育館 雨漏り改修

湯島の総合体育館は、築37年で老朽化が進み雨漏りがひどく、耐震上も問題があり、早急な改修が必要です。昨年の台風による雨漏り被害が大きく、2月末からアリーナの雨漏り改修・天井補修工事が行われる。

働く親たちを悩ませ続けた「子どもの病気と保育」の課題にようやく光がみえた。「保坂こどもクリニック(白山5丁目)」で、病後児保育が始まった。区費で専門の保育士が看護師が配置され、生後4ヵ月から小学3年生まで保育する。がんばれ働くママ、パパ!

### 病後児保育OKに

みんなの春夏秋冬

石原都知事全国一、削減の“名刀”  
倉田 新